

報道機関各位
プレスリリース

【予約受付中】

2017年11月9日
株式会社阪急阪神ホテルズ
六甲山ホテル

【12月末閉館】 88年間の**集大成**となる贅沢ステイ《1日1室限定》

グランドフィナーレ宿泊プラン販売のお知らせ

12月1日(金)～30日(土) 六甲山ホテルにて予約受付中

六甲山ホテル（神戸市灘区六甲山町 総支配人 おおた みつひこ 太田 光彦）は、2017年12月末で閉館いたします。88年の長きにわたるご愛顧に感謝し、**フィナーレ**を飾るにふさわしい宿泊プランを販売いたします。

日本三大夜景のひとつ“神戸1,000万ドルの夜景”と、1室しかない“特別室”、さらに神戸ビーフや活オマール海老を使った“スペシャルディナー”をセットにした特別プランを12月限定でご用意いたします。六甲山上からの眺望とともに贅沢なひとときを満喫いただけます。



【プラン詳細】

グランドフィナーレ ステイプラン

1室 70,000円 [1泊2食付 / 1日1室2名様限定]

- ① 1室しかない**特別室** [58.0㎡ / ジュニアスイートタイプ]
- ② **スペシャルディナー**コース
活オマール1尾のグラチネと三大珍味、神戸ビーフのフランベ など
【特典】1,000万ドルの夜景を一望できる窓側席を確約
- ③ **朝食**（和洋バイキング）
- ④ **昭和初期発行のホテルパンフレット**（ミニサイズ レプリカ）

～スペシャルディナー～（メニュー内容）

- ・和洋折衷の小さなお楽しみ 前菜10種盛り合わせ
- ・淡路産玉葱を使ったオニオングラタンスープ
- ・活オマール海老（1尾）のグラチネ トリュフの香り
フォワグラ、キャビア添え
- ・神戸ビーフロース肉 コニャックフランベのパフォーマンスとともに
- ・デザート4種 ほか



【昭和初期発行のパンフレット（レプリカ）】
六甲山上の変化もお楽しみいただけます

【ご予約・お問い合わせ】TEL：078-891-0301（代表）

※上記料金はサービス料・消費税込 ※写真はいずれもイメージ



この件に関するお問い合わせは 六甲山ホテル 営業企画 / 波々伯部 記幸・庄司 亜矢

TEL：078-891-0466（営業企画） FAX：078-891-0736

E-mail：n-hohokabe@hankyu-hanshin-hotels.com 記載の写真データをご用意しております

《 六甲山ホテル 88年の歩み 》 (概略)

宝塚ホテルの別館として開業した六甲山ホテル。戦前戦後の激動の時代を乗り越え、本年7月に88周年を迎えました。阪急東宝グループ（現 阪急阪神東宝グループ）の創業者 小林一三翁をはじめ、多くの著名な方々にもご愛顧いただきました。創業当時から現存する旧館は、ヨーロッパの工法を取り入れた建築物として、近代化産業遺産にも指定されています。

1926年5月14日	宝塚ホテル 開業
1929年7月10日	六甲山ホテル 開業
1944年8月	阪神ドイツ人協会に一部施設を賃貸 ドイツ潜水艦乗員の休息施設、将校宿舎として稼働
1962年5月	新館（現・本館） 営業開始
1969年9月	バーベキューレストラン「ジンギスカンテラス」開業
1981年10月	独立型チャペル「ヘヴンリー・オラトリウム」開業
2007年11月	経済産業省より、旧館が近代化産業遺産に指定
2015年12月	老朽化に伴い、旧館の営業を終了
2017年3月18日	ジンギスカンテラスが、バーベキューハウス 「The Grill-ザ・グリル」としてリニューアルオープン
2017年7月10日	開業88周年記念日
2017年12月31日	営業終了（午前11:00まで）



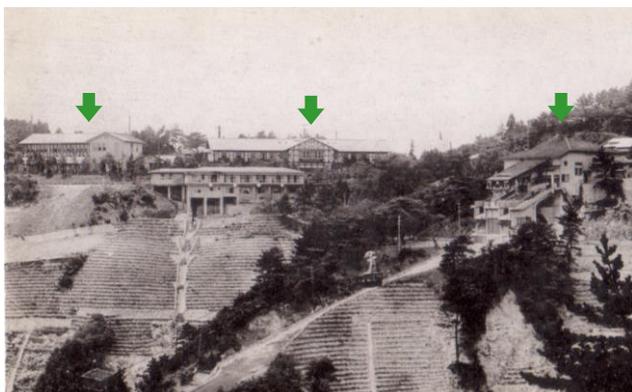
小林一三翁と六甲山ホテル
ホテル(旧館)正面玄関前にて1934年8月5日撮影
〔阪急文化財団 提供〕



▲ 開業当時の旧館



▲ 客室〔昭和30年代後半〕



▲ 左から 旧新館・旧館(現存)・六甲登山ロープウェー



▲ 旧館2階 ライブラリー（現在入館不可）

＜ ホテル概要 ＞

所在地：〒657-0101 神戸市灘区六甲山町南六甲 1034
 施設：客室 45室、飲食施設 4店舗、宴会場 3室
 独立型チャペル、ガーデンパーティスペース

以上